

2005 年 5 月 31 日

消費電力 50%低減、1.8V 動作 256M ビット DRAM サンプル出荷開始

ポータブルデジタルコンシューマ機器向け
×32 構成 256M SDRAM 製品ラインアップを拡充



エルピーダメモリ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：坂本幸雄 以下、エルピーダ）は、ポータブルデジタルコンシューマ機器向け×32 ビット構成の 256M ビット SDRAM 従来製品に加えて、このたび、低電圧 1.8V 動作品や当社従来品比較で消費電力を 50%低減した EDS2532 シリーズをあらたにラインアップし、サンプル出荷を開始いたしました。

本新製品は、デジタルスチルカメラ（DSC）やデジタルビデオカメラ（DVC）などバッテリー駆動のポータブルデジタルコンシューマ機器におけるバッテリーサイズ制約や駆動時間延長の要求に対応するべく、従来品以上の低消費電力（低電圧動作、動作電流低減）を実現しています。

また、本新製品には動作電圧 2.5V 品もラインアップしており、動作周波数 166MHz の高速品も対応するなど、お客様のご要求に幅広くお応えできる製品となっています。

新製品の主な特長

1. 100nm プロセス採用により 1.8V 動作を実現。動作電源電圧 1.8V 品と 2.5V 品をラインアップ。

2. 当社従来品より動作電流を 30%低減（2.5V 品）。
3. 動作周波数 166MHz（2.5V 品）、133MHz（1.8V 品）と高速での動作が可能。
4. FBGA（ファインピッチ・ボール・グリッド・アレイ）パッケージ、×32 ビット構成により、実装面積の厳しいデジタルコンシューマ機器に最適。
5. デジタルコンシューマ機器の小型化に貢献するマルチチップパッケージ（MCP）にも対応するべく、組立てに有利なエッジパッド方式を採用。

近年、DSC や DVC などのバッテリー駆動のデジタルコンシューマ機器では、その多機能化・高性能化にともない高速・大容量 DRAM のニーズが高まっています。その反面、機器の小型・軽量化が一層強く求められ、バッテリーサイズや駆動時間の制約はますます強くなり、搭載デバイスにはさらなる低消費電力化が必要となってきています。

エルピーダでは、従来より、このようなバッテリー駆動のデジタルコンシューマ機器向けに×32 ビット構成の 256M ビット SDRAM を製品化して好評をいただいておりますが、このたび、機器からのニーズに対してさらに強力にお応えすべく、1.8V の低電圧動作と動作電流の 30%低減（当社従来品比較）による消費電力の半減化、また、166MHz の高速動作を実現した 256M ビット SDRAM を製品化いたしました。

なお、新製品の量産開始は 2005 年 9 月を予定しています。

エルピーダでは今後も、デジタルコンシューマ機器に最適な DRAM 製品の開発に積極的に取り組んでまいります。

新製品の主な仕様は別紙をご覧ください。

以 上

ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

別紙

256M ビット SDRAM の主な仕様

| | |
|-------------|--|
| 製品名 | EDS2532JE _{xx} (電源電圧 VDD=2.5V ± 0.2V) EDS2532EE _{xx} (電源電圧 VDD=1.8V ± 0.1V) |
| 製造プロセス | 100nm CMOS プロセス |
| 構成 | 2M ワード × 32 ビット × 4 バンク |
| クロック周波数 | 166MHz(max.) (EDS2532JE、CL=3) 133MHz(max.) (EDS2532EE、CL=3) |
| 動作温度範囲 | 0 ~ +70 |
| 動作電流 (IDD1) | 90mA (EDS2532JE : 166MHz) 80mA (EDS2532EE : 133MHz) |
| 外形 | 90 ボール FBGA (Fine-pitch Ball Grid Array) 13.0mm × 8.0mm × 1.1mm |